



住民自らの行動に結びつく  
水害・土砂災害ハザード・リスク  
情報共有プロジェクト

## 令和4年度の実施計画

---

○国土交通省では、水害情報などの提供・伝達方法を充実させることを目的に、平成30年10月に「住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト」を立ち上げ、同年12月にプロジェクトレポートをとりまとめた。

## ○プロジェクト参加団体

### <マスメディア>

日本放送協会(NHK)、一般社団法人日本民間放送連盟  
 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟  
 NPO法人気象キャスターネットワーク  
 エフエム東京  
 全国地方新聞社連合会  
 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICS)

### <ネットメディア>

LINE株式会社、Twitter Japan株式会社  
 グーグル合同会社、ヤフー株式会社  
 NTTドコモ株式会社、KDDI株式会社  
 ソフトバンク株式会社

### <行政関連団体>

一般財団法人マルチメディア振興センター(Lアラート)

### <市町村関係者>

新潟県見附市

### <地域の防災活動を支援する団体>

常総市防災士連絡協議会

### <行政>

国土交通省水管理・国土保全局、道路局  
 気象庁

情報を発信する行政、情報を伝えるマスメディア、ネットメディア関係者等が、互いの特性を活かした対応策、連携策を検討。主な論点を、右記課題1～課題3とし、33項目の取組がまとめられた。

## ○住民自らの行動に結びつける新たな6つの連携プロジェクト

～受け身の個人から行動する個人へ～

### 課題1 より分かりやすい情報提供のあり方は

#### A: 災害情報単純化プロジェクト ～災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求～

水害・土砂災害情報統合ポータルサイトの作成、情報の「ワンフレーズマルチキャスト」の推進、気象キャスター等との連携による災害情報用語・表現改善点検

### 課題2 住民に切迫感を伝えるために何ができるか

#### B: 災害情報我がことプロジェクト～災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現～

地域防災コラボチャンネル(CATV×ローカルFM)、新聞からのハザードマップへの誘導、マイページ機能の導入、テレビ、ラジオ、ネットメディア等が連携した「マイ・タイムライン」普及

#### C: 災害リアリティー伝達プロジェクト

～画像情報の活用や専門家からの情報発信など切迫感とリアリティーの追求～

河川監視カメラ画像の積極的な配信、専門家による災害情報の解説、ETC2.0やデジタルサイネージ等を活用した道路利用者への情報提供の強化

#### D: 災害時の意識転換プロジェクト

～災害モードへの個々の意識を切り替えさせるトリガー情報の発信～

住民自らの避難行動のためのトリガー情報の明確化、緊急速報メールの配信文例の統一化

### 課題3 情報弱者に水害・土砂災害情報を伝える方法とは

#### F: 地域コミュニティ避難促進プロジェクト

～地域コミュニティの防災力の強化と情報弱者へのアプローチ～

登録型のプッシュ型メールシステムによる高齢者避難支援「逃げなきゃコール」の提供、「避難インフルエンサー(災害時避難行動リーダー)」への情報提供支援

上記課題を具体化させるために

※「ふるさとプッシュ」は「逃げなきゃコール」に名称変更となりました。

#### E: 災害情報メディア連携プロジェクト

～災害情報の入手を容易にするためのメディア連携の促進～

テレビ・ラジオ・新聞からのネットへの誘導(二次元コード等)、ハッシュタグの共通使用、公式アカウントのSNSを活用した情報拡散

# 現時点における各取組状況および共有情報の位置付け等 一覧

項目	全体会議 (本省)	近畿地方 メディア連携 協議会 (整備局)	兵庫県 メディア連携 協議会 (事務所)
<b>A: 災害情報単純化プロジェクト</b>			
①水害・土砂災害情報統合ポータルサイトの作成	●	●	同左
②DIMAPSによる災害ビッグデータを含む事前情報・被害情報の一元表示	●	●	
③一元的な情報伝達・共有のためのLアラート活用	●	—	
④「ワンフレーズ・マルチキャスト」の推進	●	●	
⑤災害情報(水害・土砂災害)用語・表現改善点検会議の実施	●	●	
⑥天気予報コーナー等での水害・土砂災害情報の平常時からの積極的解説	●	●	
⑦災害の切迫状況に応じたシームレスな情報提供	●	—	
<b>B: 災害情報我がことプロジェクト</b>			
⑧地域防災コラボチャンネルの普及促進	●	●	同左
⑨水害リスクラインによる地先毎の危険度情報の提供	●	●	
⑩ダム下流部のリスク情報の共有	—	●	
⑪ダムの状況に関する分かりやすい情報提供	●	●	
⑫天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの積極的解説	●	●	
⑬テレビ、ラジオ、ネットメディア等と連携した「マイ・タイムライン」の普及促進	●	●	
⑭マイ・ページ〜一人一人が必要とする情報の提供へ〜	●	—	
⑮スマホアプリ等の活用促進に向けた災害情報コンテンツの連携強化	●	●	
<b>C: 災害リアリティー伝達プロジェクト</b>			
⑯河川監視カメラ画像の提供によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信	—	●	同左
⑰ETC2.0やデジタルサイネージ等を活用した道路利用者への情報提供の強化	●	—	
⑱水害・土砂災害情報を適切に伝えるための専門家による解説を充実	—	●	
<b>D: 災害時の意識転換プロジェクト</b>			
⑲住民自らの避難行動のためのトリガー情報の明確化	●	—	同左
⑳緊急速報メールの重要性の住民への周知	—	●	
㉑緊急速報メールの配信文例の統一	●	—	
<b>E: 災害情報メディア連携プロジェクト</b>			
㉒新聞等の紙メディアとネットメディアの連携	—	●	同左
㉓テレビ等のブロードキャストメディアからネットメディアへの誘導	—	●	
㉔様々なメディアでの行政機関の災害情報サイトの活用	—	●	
㉕災害情報のSNSへの発信力の強化	●	—	
㉖行政機関によるSNS公式アカウントを通じた情報発信の強化	—	●	
㉗ハッシュタグの共通使用、公式アカウントのリンク掲載による情報拡散	●	—	
㉘SNS等での防災情報発信及びリツイート	—	●	
㉙災害の切迫状況に応じたシームレスな情報提供【再掲】	●	—	
㉚地方におけるメディア連携協議会の設置	—	●	
㉛水害・土砂災害情報のオープンデータ化の推進	●	—	
<b>F: 地域コミュニティ避難促進プロジェクト</b>			
㉜「避難インフルエンサー(災害時避難行動リーダー)」となる人づくり	●	●	同左
㉝登録型のプッシュ型メールシステムによる高齢者避難支援「にげなきコール」	●	●	
㉞電話とAIを用いた災害時高齢者お助けテレフォンの開発	●	—	
㉟ETC2.0やデジタルサイネージ等を活用した道路利用者への情報提供の強化【再掲】	●	—	

---

# 兵庫県域メディア連携協議会の参加 機関の取組

# 神戸新聞 防災新聞

2005年～ 現在月1回



**豊岡市・港地区 災害リスク**

【津波】 最大クラスの津波の襲撃到達時間と最高水位は日和山と瀬戸が10分で3.1m、田結が12分で3.6mなど想定。2m未満の浸水も生じるとされる。

【風水害】 2004年の台風23号で甲山山頂付近などで市内約3900棟が浸水。志摩郡に1男児20人以上の死が4時間続くと被害が大きくなる傾向があるという。

【地震】 1925年の北総大震災(最大震度6)は地区内が震源に近く、市内で420人が死亡した。日本海沿岸地域で震度6後、南海トラフ地震で震度5強を想定。

【まちづくり】 日本海と内山に囲まれる豊岡市の山岳地域で、観光地の開発並みの高層に建築。五層にスライディングプラットフォーム「津波山頂」で知られる津波山頂や、水害時の避難マニフールド。右岸に海水浴場とキャンプ場を備える気比の浜がある。

**津波最短10分到達 水門や堤防 対策工事進む**

兵庫県が2018年に公表した想定によると、日本海沿岸で発生する最大クラスの津波は豊岡市港地区に最短10分到達、最高水位は3mを超えてくる。被害軽減のため、堤防のかき上げや水門の対策工事が進む。

予想される津波到達時間は、同地区北西部の日和山と瀬戸で10分。高さは3.1m。北東部の田結では高さが3.6mになる。住宅地では2m未満の浸水が生じる可能性がある。

県は、津波山区と瀬戸区を隔てる運河にある瀬戸水門=写真②=を、事業費約1億円で耐震化した。これにより最大クラスの津波でも、30分未満で浸水する人家が340戸

**住宅地を蛇行、20年かけ河川改修**

「津波山頂」(写真⑤)は、日本海と内山に囲まれる豊岡市の山岳地域で、観光地の開発並みの高層に建築。五層にスライディングプラットフォーム「津波山頂」で知られる津波山頂や、水害時の避難マニフールド。右岸に海水浴場とキャンプ場を備える気比の浜がある。

津波山区と瀬戸区を隔てる運河にある瀬戸水門=写真②=を、事業費約1億円耐震化した。これにより最大クラスの津波でも、30分未満で浸水する人家が340戸から120戸に減るといふ。

さらに、気比川堤防=写真③=では、約9億円をかけてかさ上げ工事を行っており、来年春に完成予定。30分未満で浸水する人家は工事前の20戸に対し、ゼロになるとしている。

こうしたハード面の対策に加え、人命を守るためには住民の「自助」「共助」が求められる。気比区では毎年の避難訓練で、住民が10分以内で近隣の高台へ避難できるようにした。ただ、区長の松本幹雄さん(62)は「地震後に身を守る行動をしたら、全員が数分で移動できるかどうか」と話し、要援護者の情報把握や避難のさらなる迅速化に努めたいとしている。

津波の最短到達時間と最高水位

津波山頂	10分3.1m
日和山	10分3.1m
瀬戸	12分3.6m
田結	12分3.6m



2022. 5. 16

- 豊岡・港地区
- 氾濫繰り返した円山川
- 住宅地を蛇行、20年かけ改修
- 津波警戒、要援護者支援が課題

◆多角的な視点から災害に備えるシリーズです。第3号曜日に掲載。次回は6月20日です。

2022. 7. 18

- 明石・魚住地区
- ため池20カ所、豪雨に危機感
- 兵庫のため池 全国最多  
6027カ所で人的被害の恐れ



**明石市魚住地区 災害リスク**

【地震】六甲・淡路直衝帯間地震が発生すると、最大震度7で、明石市内3万5189棟が全壊すると想定。1戸毎住居別は過半数の住居も壊れると見られる。南海トラフ巨大地震では最大震度8強の想定。

【津波】南海トラフ巨大地震により、明石市の最高津波高は2.0m。最長到達時間は11分とされる。標高3m未満の沿岸部で警戒が必要。

【風水害】瀬門内海に注ぐ瀬門川やその支流の流木川の氾濫は、0.5m以上の洪水浸水想定となっている。

明石市の西部に位置し、山と山麓農地の沖積帯がある。地区内には近年の甲子農業団、市立明石南高や、市内の国立明石南高もある。北部の金ヶ崎公園は木々に囲まれて自然が残り、南部の住吉神社はアサライ草と花の谷がある。

**ため池20カ所超、豪雨に危機感**

「明石市魚住地区」の「ため池20カ所超」は、豪雨によるため池決壊の危機感を生み出している。同市農業課は、ため池の危険性を調査し、対策を講じている。

同市農業課は、ため池の危険性を調査し、対策を講じている。同市農業課は、ため池の危険性を調査し、対策を講じている。

同市農業課は、ため池の危険性を調査し、対策を講じている。同市農業課は、ため池の危険性を調査し、対策を講じている。

**防災マップ作成、避難訓練時から活用**

「明石市魚住地区」の「ため池20カ所超」は、豪雨によるため池決壊の危機感を生み出している。同市農業課は、ため池の危険性を調査し、対策を講じている。

同市農業課は、ため池の危険性を調査し、対策を講じている。同市農業課は、ため池の危険性を調査し、対策を講じている。

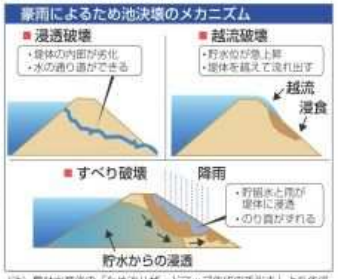
**県内のため池 全国最多 6027カ所で人的被害の恐れ**

明石市魚住地区にも多く点在するため池。兵庫県内ではため池が約2万2千カ所あり、全国の14%を占めて都道府県別で最多となっている。県は、自然災害で決壊した場合に人的被害の出る恐れのあるため池6027カ所（昨年9月時点）を「防災重点農業用ため池」に指定。明石市にも83カ所ある。2018年の西日本豪雨では兵庫を含む全国各地のため池で土砂流入や堰の損壊といった被害が出ており、対策が急がれる。

明石市は規模の大きい寛政池と釜谷池について周辺のハザードマップを作成した。寛政池は神戸市西区にあるが、明石市に隣接しており、魚住地区を含め広域で浸水が想定される。

さらに市は、ため池4カ所のハザードマップを近く公表予定。それ以外のため池は、県のCGハザードマップを参照するよう促している。市のハザードマップでは、決壊のメカニズムも解説。地震の時は堤体の陥没やひび割れが生じ、潮水が急激に増えたり、濁ったりすると危険の兆候という。大雨の時はこうしたケースに加え、急激に水位が上昇して堤体を越えることもある。

同市農業課は「自分や家族の命を守るため、マップを通じて想定される災害を事前に知っておきたい。避難について考え、防災力向上に取り組んでほしい」としている。



【注】農林水産省の「ため池ハザードマップ作成の手引法」より作成

◆多角的な視点から災害に備えるシリーズです。第3月曜日に掲載。次回は9月19日です。

2022. 9. 19

ひょうご 防災新聞 + プラス SHEET 0246 東災地を歩く 7 淡路・興隆寺地区 DISASTER FILE V



### 孤立対策、四輪駆動車や太陽光

#### 台風23号時「陸の孤島」に、教訓生かす

【淡路市興隆寺】「陸の孤島」に、教訓生かす。淡路市興隆寺地区は、山間部であり、災害時に孤立しやすい。過去の台風で、孤立した集落が複数発生した。今年30年以内の発生確率が70～80%に達する東海トラフ巨大地震で、震度6弱の揺れが襲う。淡路市の最大震度は6強。地震の揺れによる土砂災害の発生も懸念される。同地区は島の間にあった集落。淡路市全体で死者240人、全壊1964棟と見込まれる。

「孤立性」が高い。過去の台風で、孤立した集落が複数発生した。今年30年以内の発生確率が70～80%に達する東海トラフ巨大地震で、震度6弱の揺れが襲う。淡路市の最大震度は6強。地震の揺れによる土砂災害の発生も懸念される。同地区は島の間にあった集落。淡路市全体で死者240人、全壊1964棟と見込まれる。

「孤立性」が高い。過去の台風で、孤立した集落が複数発生した。今年30年以内の発生確率が70～80%に達する東海トラフ巨大地震で、震度6弱の揺れが襲う。淡路市の最大震度は6強。地震の揺れによる土砂災害の発生も懸念される。同地区は島の間にあった集落。淡路市全体で死者240人、全壊1964棟と見込まれる。

「孤立性」が高い。過去の台風で、孤立した集落が複数発生した。今年30年以内の発生確率が70～80%に達する東海トラフ巨大地震で、震度6弱の揺れが襲う。淡路市の最大震度は6強。地震の揺れによる土砂災害の発生も懸念される。同地区は島の間にあった集落。淡路市全体で死者240人、全壊1964棟と見込まれる。

#### 「孤立可能性」、兵庫は415集落

2004年10月の新潟県中越地震では、土砂災害により多数の孤立集落が発生した。震度6強を記録した同県山古志村（現・長岡市）では、道路が寸断されたため、村民がヘリコプターで避難する「全村避難」に踏み切った。異例の対応が注目された。

内閣府はこの地震を踏まえ、05年に孤立集落に関する全国調査を実施。09年、14年にその後の状況を尋ねるフォローアップ調査を行った。

14年の結果では、土砂災害や地震などで外部とつながる道路が寸断され、孤立する可能性がある農業・漁業集落は全国で1万9145集落に上ることが明らかになった。

その大半を占める農業集落で「避難訓練をしている」と回答したのは39.7%、「防災行政無線を備えている」は28.6%にとどまった。備蓄では「食料（主食）」が7.4%、「飲料水」は5.0%と手薄な状況が浮かび上がった。一方、「自主防災組織がある」は73.8%、「避難施設がある」は66.2%だった。

兵庫によると、県内の孤立可能性集落は21年度末で、淡路市興隆寺など415に上る。新潟県中越地震の後、11年の東日本大震災や紀伊半島豪雨で孤立集落が発生した。行政と住民が連携し、想定外を防ぐための備えが重要になる。

#### 孤立可能性のある集落の対策・備蓄状況

対策・備蓄状況	割合 (%)
避難訓練の実施	39.7%
防災行政無線	28.6%
ヘリコプターの駐機スペース	18.0%
投光機	12.7%
テント	10.4%
衛星携帯電話	7.4%
食料（主食）	7.4%
非常電源	6.4%
飲料水	5.0%
組み立て、簡易トイレ	3.6%

内閣府の2014年調査（農業集落）から

◆シリーズ「東災地を歩く」は今回で終わります。防災新聞は第3月曜日に掲載。次回は10月17日です。

- 淡路 興隆寺地区
- 過去の台風で「陸の孤島」に
- 住民52人、孤立対策
- 孤立可能性、兵庫は415集落



# 台風14号

警報級の大雨と暴風になる可能性がある期間

		18日 6~24時	19日	20日	21日
近畿	大雨	黄色	黄色	黄色	
	暴風	黄色	赤色	黄色	
中国	大雨	黄色	黄色	黄色	
	暴風	黄色	赤色	黄色	
四国	大雨	黄色	黄色	黄色	
	暴風	黄色	赤色	黄色	

黄色…可能性がある 赤色…可能性が高い

## 台風から身を守るために

- ハザードマップを確認。浸水や土砂災害、高潮のリスクチェック
- 指定避難所は入れない可能性あり。安全な親族や知人宅、ホテルなどへの避難も有効
- 各種の情報を注視し、河川の異変などがあれば空振りを恐れず早期避難を
- 風雨で避難行動が難しい場合、自宅での山の斜面と反対側の2階など高い場所へ移動。停電対策の備蓄は忘れずに

### ハザードマップ

兵庫県のアプリ  
「ひょうご防災ネット」



### 災害の危険度情報など

気象庁  
「防災情報」[キキクル]



### 河川の水位など

国土交通省  
「川の防災情報」



19日に予想される最大風速は東北部・南部ともに陸上25〜29㍍、海上30〜40㍍、最大瞬間風速は陸上35〜45㍍、海上40〜60㍍。18日正午から19日正午の24時間雨量は北部50〜100㍉、南部100〜150㍉と予想

性はあるが、担当者は「台

今後も予報が変わる可能性はありますが、担当者は「台

高いという。

(1面参照)

神戸地方気象台は17日、台風14号が兵庫県に最接近するのは19日午後9時から20日午前3時ごろになるとの見通しを示した。18日未明から20日夕は風速15㍍以上の強風域に入り、そのうち19日午後6時から20日午前6時ごろには、風速25㍍以上の暴風域に入る見込み。19日には東北部・南部ともに暴風、波浪、高潮、大雨、洪水の各警報を発表する可能性が高いという。

風が発達しており、進路も兵庫県にかなり接近する」として、早めの備えを訴えた。(上田勇紀)

## 台風14号 播磨灘沿岸 高潮の恐れ

# 兵庫最接近あす夜〜20日未明



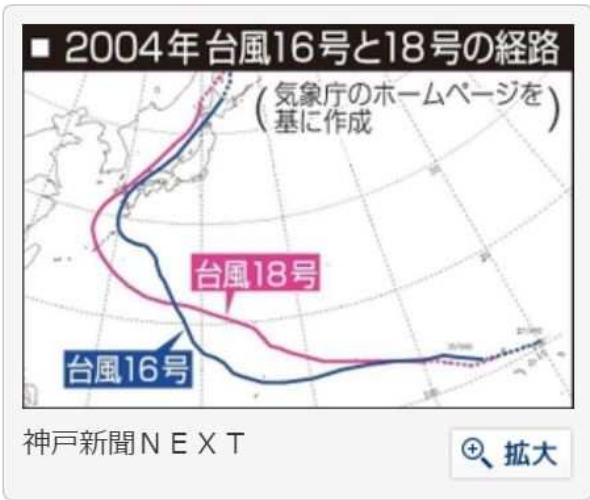
🕒 2022/9/17 05:30 神戸新聞NEXT

## ■ 台風14号、どう備える？ 大きな被害与えた04年の16、18号と似た進路と予報円

🐦 ツイート

📄 シェアする 1

🖨️ 印刷



大型で非常に強い台風14号がこの3連休、西日本に上陸する可能性が高まってきた。予報円が示すように九州から中国地方、近畿地方に接近し、日本海へ抜けるコースは、列島に大きな被害をもたらした2004年の台風16、18号に似ているとの指摘もある。早めに備えたい。

気象庁によると、台風14号は3連休初日の17日には沖縄と九州南部に接近する見通し。その後、進路は東へと進みそうだ。

予報円の進路とよく似ているのが、04年の二つの台風だ。一つは台風16号。8日30日に鹿児島県に上陸。九州、中国地

台風から身を守るために			
ハザードマップを確認。浸水や土砂災害、高潮のリスクチェック	気象庁の大雨・洪水警戒レベル		
	警戒レベル	住民の行動	避難情報
指定避難所は入れない可能性あり。安全な親族や知人宅、ホテルなどへの避難も有効	5	命を守る最善の行動	緊急安全確保
	4	危険な場所から避難	避難指示
各種の情報を注視し、河川の異変などがあれば空振りを恐れず早期避難を	3	高齢者らは避難	避難準備・高齢者等避難開始

# 東北・北陸大雨 22道府県で600棟被害 ボランティア不足 偏る支援

今月上旬からの暴的な豪雨に巨額われた東北や北陸などの被災地、家屋の復旧作業が続いている。消防庁の集計では、被災家屋は22道府県で約6千棟に上る。現地に入った兵庫県内の支援団体や、研究機関の担当者は「被害の範囲が広域にわたり、ボランティアが不足している」と指摘し、支援の格差を心配する声もある。

（中野紀）



被災家庭で作業するボランティアら=いずれも21日、石川県小松市(被災地NGO協働センター提供)

豪雨では、8月3日から4日にかけて、山形県と新潟県に大雨被害が発表された。台風8号も影響し、その後も断続的に大雨が継続。消防庁集計23日時点で、長野県で1人が死亡し、岩手、山形県で2人が行方不明、家屋被害は新潟県で1888棟、石川県

## 家屋復旧難航「範囲広すぎる」



大雨で水があふれる現場

10日から約2週間にかけて、岩手県や石川県で活動した被災地NGO協働センター(神戸市兵庫区)の増島智也さん(51)は「被害は一度重なる被害に、心が折れる人もいる。じっくりと話を聴くだけでも支援になる」と、今後の取り組みへの準備を進める。

8月3日、10日に山形県最盛町などを襲った大規模な水害を受け、被災地NGO協働センター(神戸市兵庫区)の高原耕平主任研究員(39)も「被害を受けた地域が広く、家屋の床板をはがしたり、消毒したりできる、高い専門性を持ったボランティアが不足している」

「広域で助的。場所によってはほとんどボランティアがおらず、手が足りていない。被害から時間がたつと、被災者が精神的にこたえてきている」と指摘する。

いったん家屋の泥かきを終わっても、再び大雨に再襲された地域もある。阪神・淡路大震災以降、東北や広島、熊本などで被災地支援を続けてきた増島さんは「一度重なる被害に、心が折れる人もいる。じっくりと話を聴くだけでも支援になる」と、今後の取り組みへの準備を進める。

8月3日、10日に山形県最盛町などを襲った大規模な水害を受け、被災地NGO協働センター(神戸市兵庫区)の高原耕平主任研究員(39)も「被害を受けた地域が広く、家屋の床板をはがしたり、消毒したりできる、高い専門性を持ったボランティアが不足している」



8月3日からの大雨、台風8号で家屋被害があった22道府県

コロナ禍追い打ち  
収束が見えない新型コロナウイルス感染症も追い打ちをかける。全国社会福祉協議会によると、各地のボランティアセンターは、感染防止のため募集範囲を屋内や地域内に限定。全国募集はわずかにとどまる。

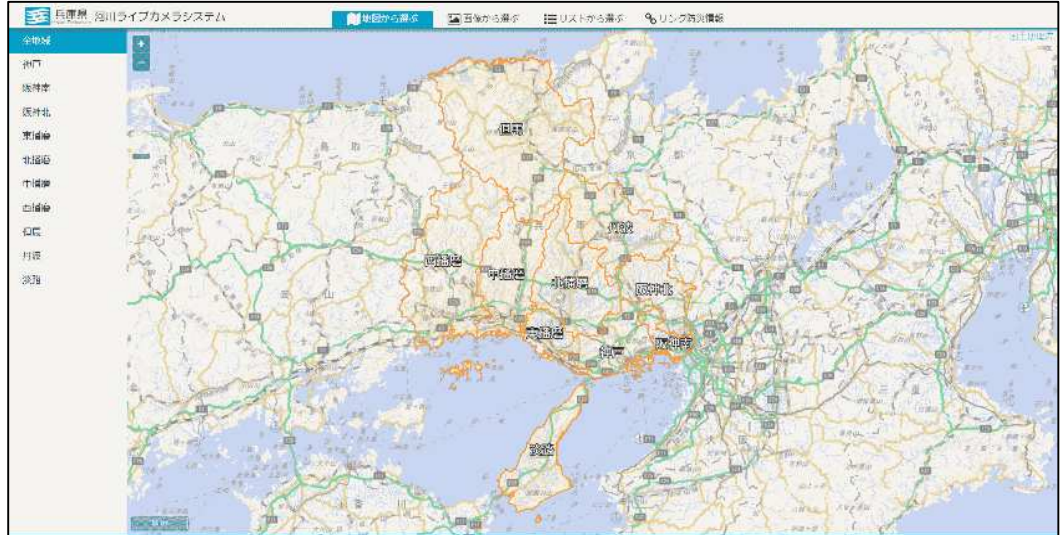
ひまわりボランティアラサの部長で、全国災害ボランティア支援機構(神戸市西区)の高橋守雄さん(71)は「募集の範囲や条件がさまざま、ボランティアを募る人も減ってしまっている。全国的な統一指針が必要」と述べている。

各地のボランティア募集状況は全国社会福祉協議会のホームページから確認できる。継続的な支援に向け、被災地NGO協働センターは活動支援金を募っている。郵便振替0100-061600056。加入費は「被災地NGO協働センター」通信欄に「0022年8月豪雨」と記す。同センター ☎078-544-0001

兵庫県河川ライブカメラシステム(<https://hyogo.kasenkanshi.info/>)では、河川ライブカメラ画像を134箇所(R3.4)から332箇所(R4.4)に増やすとともに、「地図から選ぶ」「画像から選ぶ」など操作性に配慮した画面にリニューアルしました。

また、国土交通省の協力のもと、川の防災情報(<https://www.river.go.jp/>)でも県管理カメラ画像を見ることができるようになりました。

## ■「地図から選ぶ」



## ■「画像から選ぶ」



## ■個別箇所の画面



問合せ先：兵庫県 土木部 河川整備課 企画防災班

TEL：078-362-3531 E-mail：kasenseibika@pref.hyogo.lg.jp



←スマートフォンからもご覧になれます

# 防災気象情報の改善

## 主な取組の紹介

1. キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合
2. 線状降水帯による大雨の可能性を半日前からお伝えします

# 1. キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

警戒レベル4に相当するキキクル（危険度分布）は**紫**です

キキクルの色	警戒レベル	特別警報基準値 超過を「黒」で表示												
<b>黒</b> 災害切迫	<b>5相当</b>	これまでのキキクル <table border="1"> <thead> <tr> <th>これまでのキキクルの色</th> <th>警戒レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>濃い紫</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>うす紫</td> <td>4相当</td> </tr> <tr> <td>赤</td> <td>3相当</td> </tr> <tr> <td>黄色</td> <td>2相当</td> </tr> <tr> <td>白(水色)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	これまでのキキクルの色	警戒レベル	濃い紫	-	うす紫	4相当	赤	3相当	黄色	2相当	白(水色)	-
これまでのキキクルの色	警戒レベル													
濃い紫	-													
うす紫	4相当													
赤	3相当													
黄色	2相当													
白(水色)	-													
<b>紫</b> 危険	<b>4相当</b>													
<b>赤</b> 警戒	<b>3相当</b>													
<b>黄色</b> 注意	<b>2相当</b>													
<b>白(水色)</b> 今後の情報等に留意	-													



**「紫」が出現した段階で速やかに安全な場所に避難する判断を!**

九州北部豪雨における赤谷川の被害状況  
(平成29年7月7日国土地理院撮影)

質問1) キキクル「黒」が表示されていないければ災害は発生しないの?

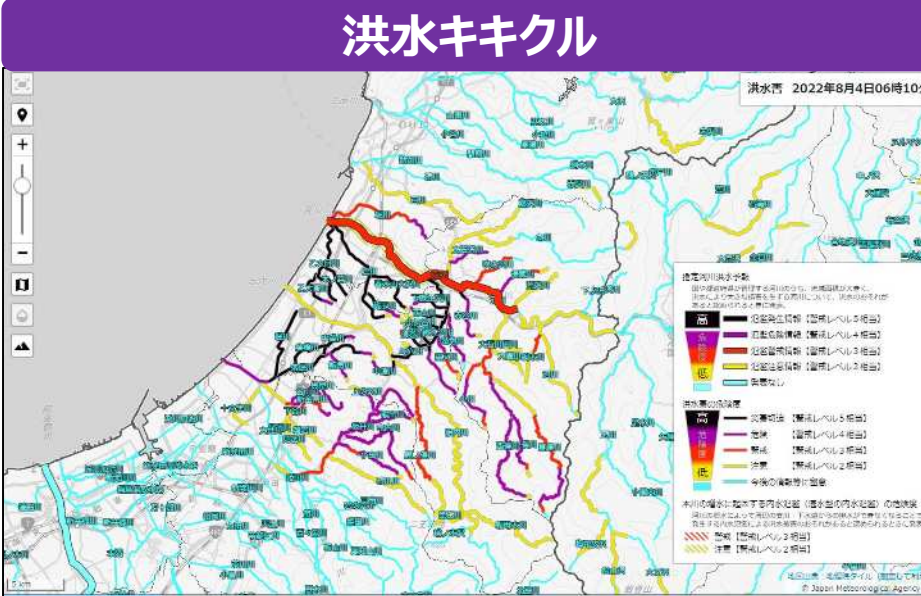
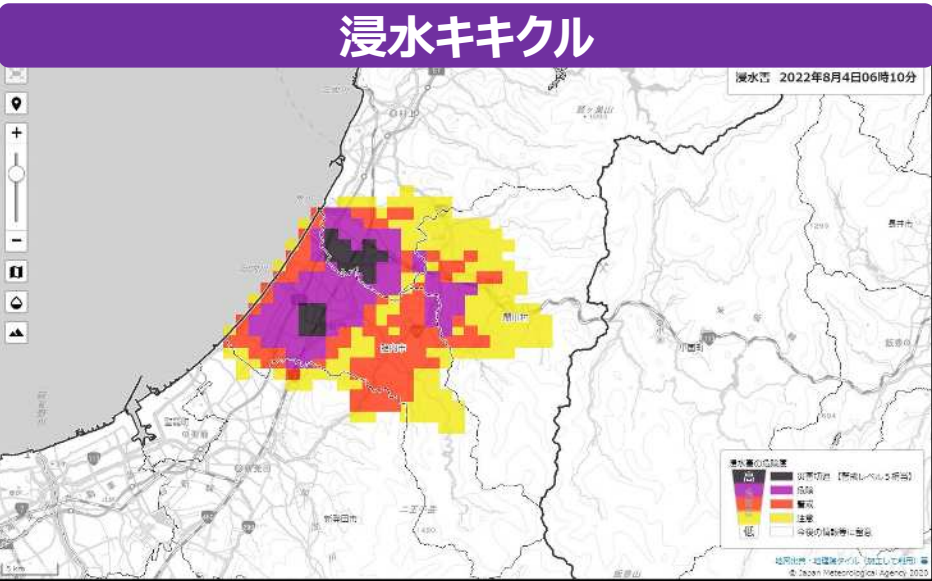
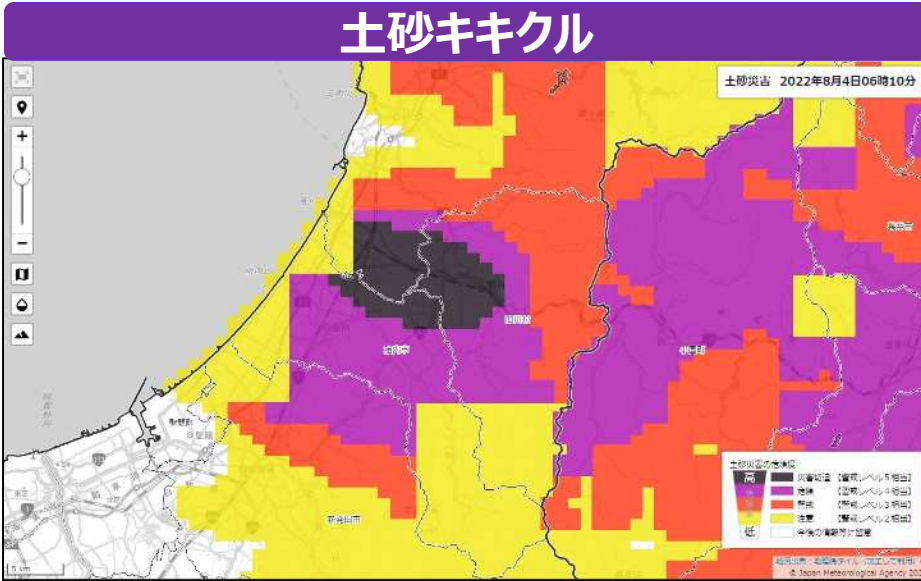
⇒そうではありません。「黒」は、大雨による災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

質問2) 市町村から発令される避難情報どう違うの?

⇒市町村から避難情報が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方で、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されます。このため、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当する紫や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する赤色が出現した際には、避難指示等が発令されていなくても、自主的に避難の判断をすることが重要です。

令和4年6月30日開始

# 1. キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合



## 「黒」と「紫」の意味と住民等の行動例 ～土砂災害の例～

現状			改善後		
色が持つ意味	状況	住民等の行動の例	色が持つ意味	状況	住民等の行動の例
極めて危険	命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生している可能性がある状況。	この段階の前に避難を完了しておく。	災害切迫 [5相当]※	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫。土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況。	(立退き時間がかかって危険な場合) <b>命の危険 直ちに身の安全を確保!</b>
非常に危険 [4相当]	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。	土砂災害警戒区域等の外へ避難する。	危険 [4相当]	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。	土砂災害警戒区域等の外へ避難する。

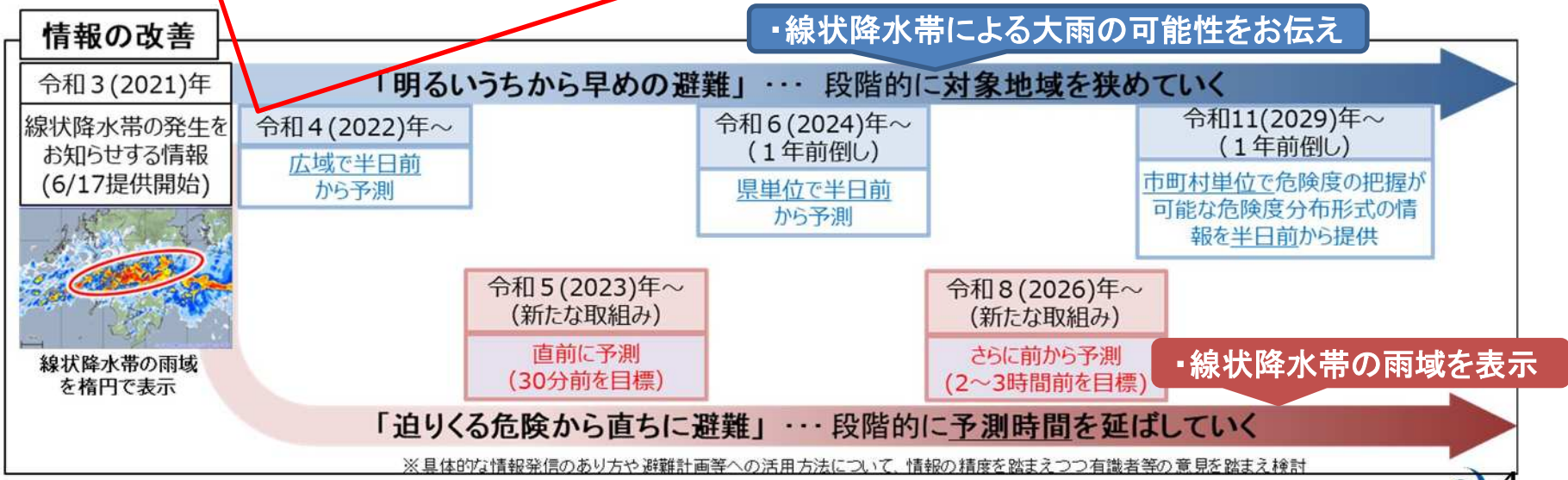
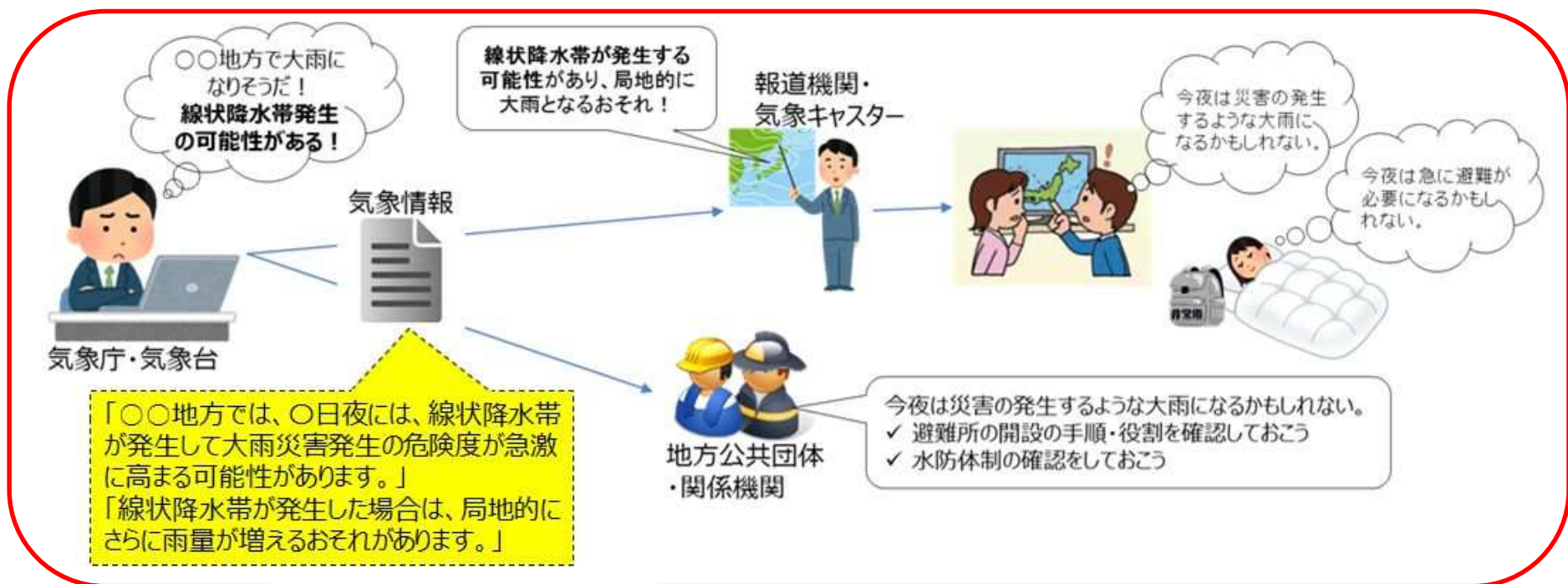
「警戒」(赤)、「注意」(黄色)、「今後の静観等に留意」(無色)については変更なし。

「災害切迫」(黒)は、土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、土砂災害が発生する前いつとも出現するとは限らない。このため、「災害切迫」(黒)を待つことなく、「危険」(紫)が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要である。

新潟県 胎内市、村上市、関川村 付近

## 2. 線状降水帯による大雨の可能性を半日前からお伝えします

令和4年6月1日開始



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討



# 【ご紹介】マイ・タイムライン作成支援ツール(猪名川河川事務所版)

2022年12月9日 猪名川河川事務所

○今年度、猪名川河川事務所では、気候変動に伴う水災害リスクの増大から人命を守るために、住民一人ひとりが避難場所等への避難や垂直避難などの屋内避難、自宅以外の安全な親戚・知人宅への避難等において、的確なタイミングで選択できるよう住民一人ひとりの防災行動をあらかじめ定める『マイ・タイムライン作成の手引き』や『マイ・タイムライン作成支援ツール』を作成しました。

※手引き等につきましては今年度内に事務所HPに掲載したのち、記者発表を予定しています。

## ①マイ・タイムライン作成支援動画の構成等

### 1. マイ・タイムライン作成支援動画

- 動画1: マイ・タイムラインを知ろう。
- 動画2: 猪名川の水害を知る
- 動画3: 島の内地区を知る
- 動画4: マイ避難カードを作ってみよう!
- 動画5: マイ・タイムラインを作ってみよう!
- 動画6: より詳しい情報を知ろう!

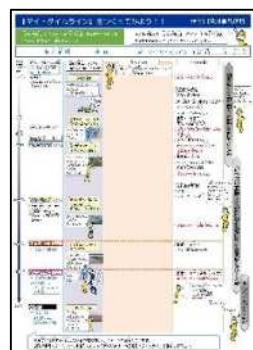


- 2. マイ・タイムライン講習会資料
- 3. マイ避難カード及び記入例
- 4. マイ・タイムラインシート及び記入例
- 5. マイ・タイムラインシール

「支援動画」



「マイ避難カード」



「マイ・タイムラインシート」



「マイ・タイムラインシール」

## ②活用事例

どの状況でもご活用できます



個人で作りたい



家族で作りたい



近所や自治会、自主防災組織で作りたい

- ①動画を見る
- ②作成のポイントを確認
- ③マイ・タイムライン作成

資料を準備して、動画を視聴します。

作成のポイントを確認ながら、マイ・タイムラインを作成します。

個人や家族で作成する場合



講師として支援する場合



作成のポイント(考えるポイント)を事前に確認



作成のポイントを確認しながら、近所や自治会などの会合で一緒に作成します。



## ⑨地区の状況を踏まえた危険情報の連絡

「川の防災情報」により、水害リスクについて情報提供を行っている。(水害リスクライン)

円山川の水害リスクライン(危険度レベル表示)は、下流部の無堤地区においても、堤防がHWLの高さを満たしている地区同様、避難のためのリードタイムを設定することから、避難判断水位が低め(安全側)の設定となる。そのため、洪水予報レベルではない低い水位でも浸水被害が発生する地区があるため、自治体を通じて対象地区毎に危険情報を適時的確に連絡し、安全確保に努めている。

※対象区間： 円山川下流0.2k~8.8k、円山川上流22.8k~24.0k

今後も、「地域性や被害特性を踏まえた避難の準備・行動を促す情報提供方法の検証と改良」を行う。

左岸0.8kの現況の堤防状況



左岸4.2kの現況の堤防状況



2021/8/14 12:00の水害リスクライン





# ⑩避難情報入手のための周知チラシ作成

国土交通省で公表している「川の防災情報」や事務所で運営しているTwitter等を周知するためのリーフレットやポスターを2種類作成。

デザインは、目を引きインパクトのあるフレーズで、記憶に残るような構成。

リーフレットは、防災学習会や防災教育実施時の豊岡市内の全幼稚園・認定保育園、小中学生、住民ワークショップ、関係行政機関へ配付など、多くの機会・場において周知。

自ら避難の情報を収集することができることを知ってもらうことで、防災啓発の相乗効果を期待。

## 『リーフレットの内容』

表

裏

表

裏

# ⑱防災教育教材、防災啓発資料の作成

平成29年度から義務教育生徒向けから大人向けの啓発資料を作成し、全ての年代の防災力向上を図る。

## 令和4年度作成(一般・防災リーダー向け防災啓発支援資料)

「避難情報とそのときの行動」編

「マイ避難カード」編

「防災情報収集」編

「防災マップ」編

「土砂災害を知る」編

「避難支援」編

等

## 令和3年度作成 (幼稚園・保育園向け学習教材)

授業テーマとねらい	
テーマ1	「洪水について理解する」
テーマ2	「雨の恵みについて知る」
テーマ3	「家族や先生の言うことを良く聞く」

## 平成29年度～令和元年度作成 (小学生向け学習教材)

学齢	授業テーマ
低学年	テーマ1 雨の恵みと災い 自分の命は自分で守る <b>1, 2年生</b>
	テーマ2 自分の命は自分で守る
中学年	テーマ1 洪水災害とその対策 <b>3, 4年生</b>
	テーマ2 自然との共生
高学年	テーマ1 洪水災害にどのように対応するか ～避難方法を知る～ <b>5, 6年生</b>
	テーマ2 わたしたちができること ～助けられる側から助ける側へ～

## 令和2年度作成 (中学生向け学習教材)

授業テーマとねらい	
テーマ1 学ぶ力を身に付ける	「避難できない人間の心理を理解する」
テーマ2 考える力を身に付ける	「水害時の具体的な避難行動を考える」
テーマ3 貢献する力を身に付ける	「水害犠牲者を出さないためにできることを考える」

## 「写真やイラストを多用した教材」

**テーマ0**  
分散避難の考え方を知る

「新型コロナウイルスが蔓延するなかでの  
避難を考える」

### 『R4年度の学習教材活用実態』

- ・豊岡市内の小中学校25校中、25校で活用
- ・豊岡市内の中学校9校中、9校で活用
- ・豊岡市内の幼稚園、保育所  
38施設中、36施設で活用

### 『防災授業教材を使用した園、学校からのご意見』

- ・動画や〇×クイズ等で、幼児が理解、興味を持ち易いように工夫されていた。
- ・学年の発達に応じた内容になっており、児童には分かりやすい防災資料となっていた。

## ②6 住民自らが考え実践する防災活動報告会の開催

平成25年度より、一般住民を対象とした防災学習会を開催。令和2年度からは、コロナ禍に配慮してSNSを活用した開催方法を採用し、流域を越えた防災啓発情報を発信。

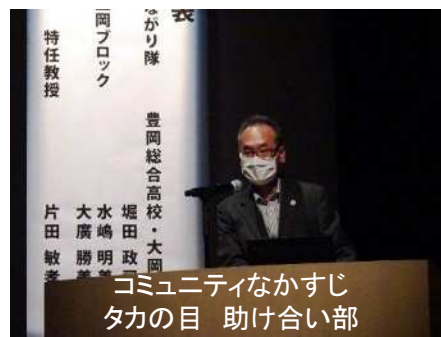
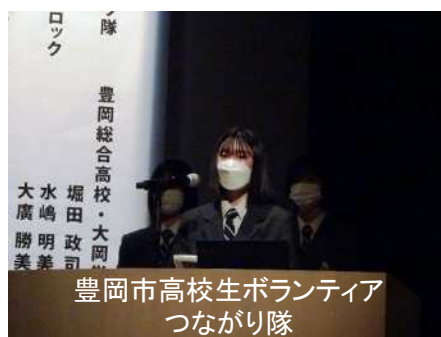
### 『YouTube配信の様子』

今年度の防災学習会では、新たな取り組みとして1ヶ月間の見逃し配信を実施し、より多くの地域住民が防災学習会を視聴できる内容とした。

- ・配信期間：10月22日（土）～11月22日（火）
- ・総視聴回数：403回（11月16日時点）



### 『防災の取り組み事例の発表』



### 『各発表への講評』



### 『参加者の感想』

- ・行政以外の取り組みを知ることができ、とても良かった。
- ・防災学習会が継続して毎年開催されていることに敬意を表します。防災意識の向上が感じられます。

【共催】豊岡市、兵庫県但馬県民局、国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所

## ③2 地域の防災リーダー育成に向けた防災士会との連携

「NPO法人 兵庫県防災士会 但馬エリア 豊岡ブロック 設立10周年記念事業」における講演。  
地域の防災リーダーである防災士に対し、平成16年台風23号水害からの河川整備の取組を「円山川におけるこれまでの防災対策について」と題して紹介。

開催日：

令和4年10月22日(土)

参加機関：

- ・兵庫県防災士会  
但馬エリア豊岡ブロック
- ・豊岡市
- ・兵庫県但馬県民局
- ・国土交通省  
近畿地方整備局  
豊岡河川国道事務所



講演内容

- ・円山川の概要・過去の水害
- ・河川激甚災害対策特別緊急事業
- ・河川整備計画
- ・環境事業
- ・円山川流域治水プロジェクト
- ・(参考)道路事業

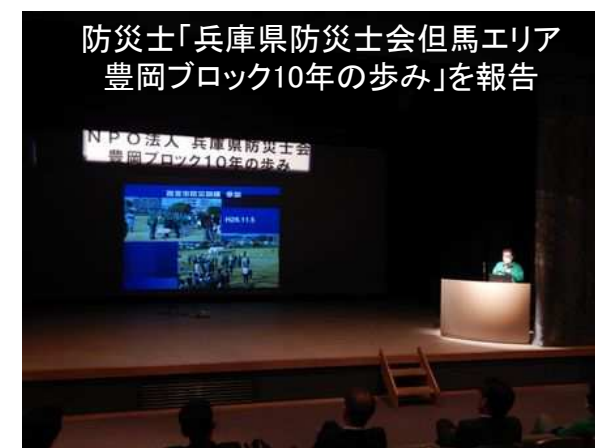
### 『記念事業の様子』



開会式



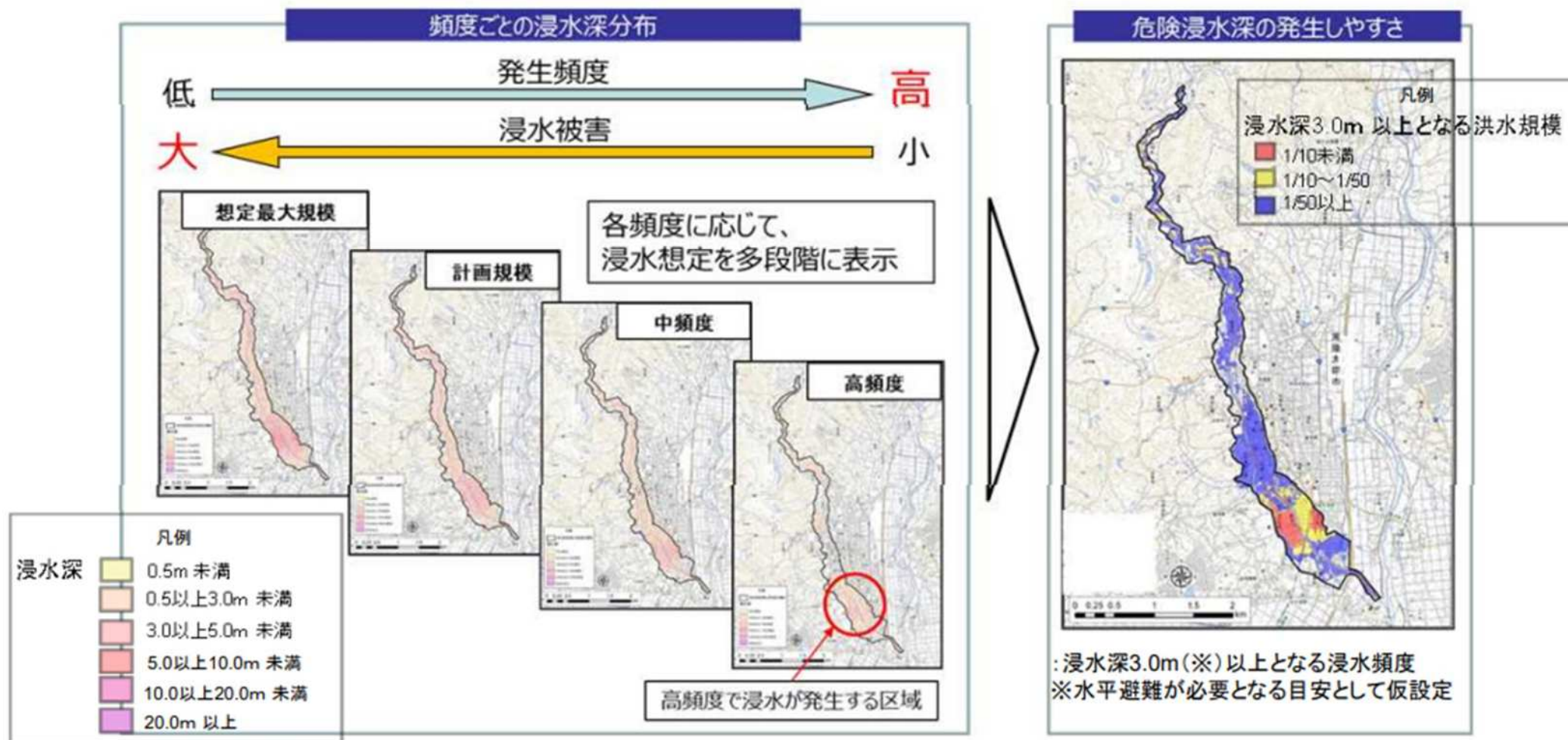
豊岡市長による講演  
「豊岡市による防災策」



防災士「兵庫県防災士会但馬エリア  
豊岡ブロック10年の歩み」を報告

○水害リスク情報の充実（水害リスクマップの概要）

○従来の水害ハザードマップに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進。

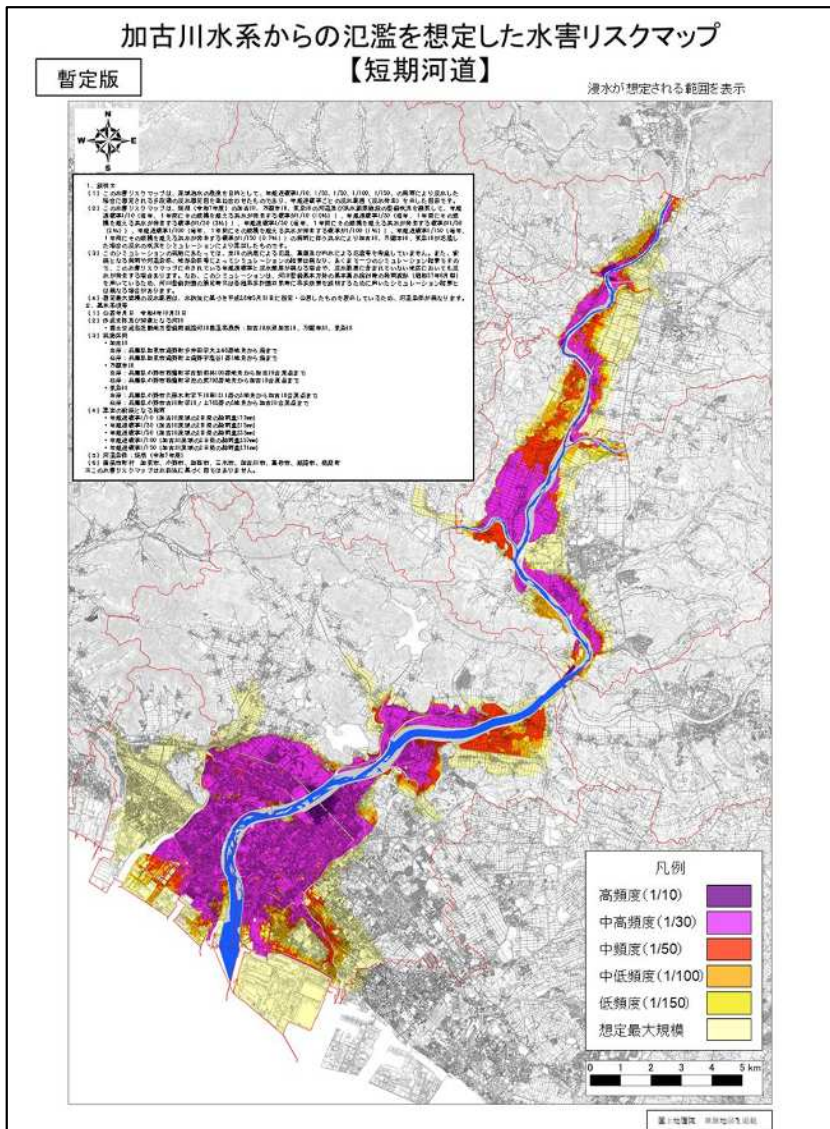


多段階の浸水想定区域図を用いた危険浸水深の発生しやすさの評価

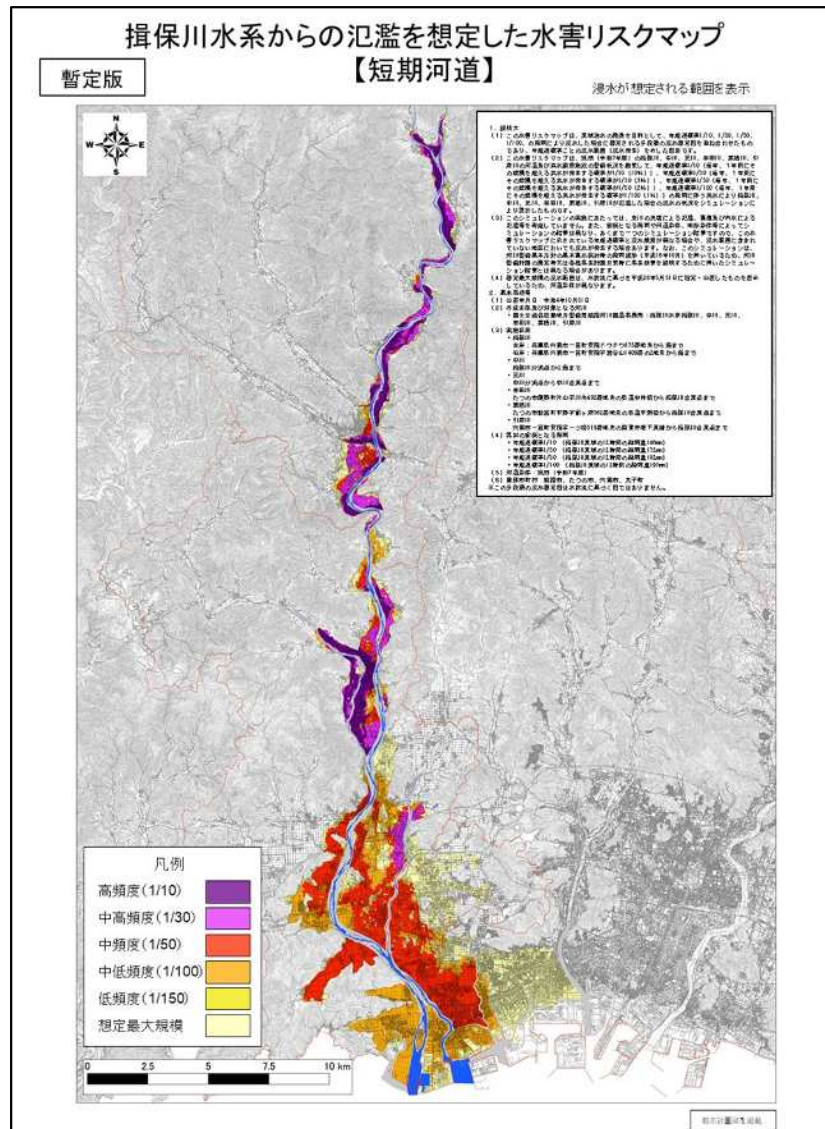


○水害リスクマップの作成状況

○加古川水系、揖保川水系、円山川水系、猪名川水系において、現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した将来の水害リスクを提示する「水害リスクマップ」を作成中。



加古川水系リスクマップ【短期河道】



揖保川水系リスクマップ【短期河道】

【国土交通省としての取組(R4)】

- 全国109の一級水系において、外水氾濫を対象とした水害リスクマップの作成を完了させる。
- 先行して、特定都市河川や水災害リスクを踏まえた防災まちづくりに取り組む地区において、内水も考慮した水害リスクマップを作成。

○網干小学校 体験型防災学習

- 7月1日姫路市網干小学校の授業の一環で、姫路市危機管理室及びNHK神戸放送局とともに、体験型防災学習を実施した。
- 姫路河川国道事務所からは、災害対策本部車・照明車を使用した乗車体験や、洪水時に網干小学校周辺がどれくらいの浸水被害となるか、揖保川のマイクロモデル(模型)で実演などを行った。

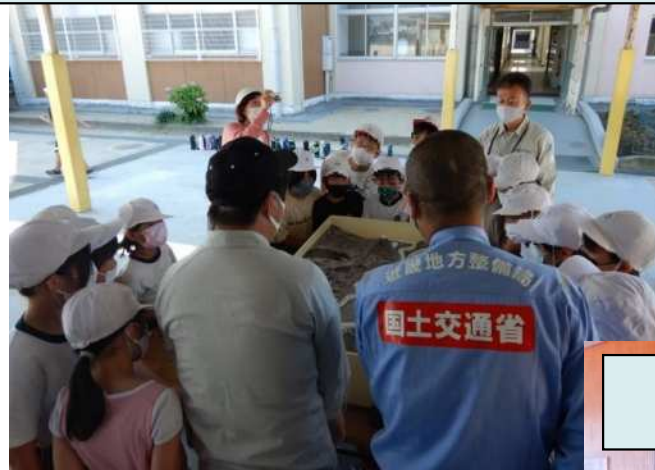
- 日 時：令和4年7月1日(金) 9:30~11:30
- 場 所：姫路市立網干小学校
- 参加機関：姫路市立網干小学校 4年生(87名)  
姫路河川国道事務所 調査課・防災課  
姫路市危機管理室  
NHK神戸放送局

○マイクロモデルによる浸水被害の実演

体験授業の前に避難について勉強  
(姫路河川国道事務所)



マイクロモデルで小学校付近の浸水状況を確認  
(姫路河川国道事務所)



○災害対策本部車・照明車の説明



災害対策本部車と照明車の説明  
(姫路河川国道事務所)

○その他企画

ポシエット作り体験  
(NHK)



土嚢づくり体験  
(姫路市)



防災授業で学んだ感想

・今回の話を聞いて、「災害が起こった時の事前準備や避難のタイミングなどを知れてよかったです」と避難に対して理解してもらうことが出来ました。